

報道関係者各位

EBI-2015-037

2015年8月18日

株式会社イーブックイニシアティブジャパン

**日本初！メビウスなどフランス版マンガ「バンド・デシネ」電子書籍化
ゲストは藤原カムイ！eBookJapan が配信記念トークイベントを開催**

マンガ No.1 (※1) の電子書籍販売サイト「eBookJapan」を運営する、株式会社イーブックイニシアティブジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小出齊（こいでひとし）、以下 eBookJapan）は、フランスとアメリカにて出版事業を展開しているフランス版マンガ「バンド・デシネ（フランス語で「描かれた帯」、日本における「漫画」の意）」の出版社である Humanoids（ユマノイド）社と、日本初の邦訳バンド・デシネの電子書籍発売を記念したトークイベントを9月4日（金）に開催いたします。



「ユマノイドとバンド・デシネの夜」イベントイメージ



漫画家、藤原カムイ先生による特別イラスト

ユマノイドは、1974年12月、フランスのパリで産声をあげました。創立当初の社名はユマノイド・アソシエ。創立メンバーにはフィリップ・ドリュイエやメビウスといった偉大なバンド・デシネ作家が名前を連ねています。

eBookJapan は、9月4日（金）より日本で初めて、ユマノイド作品の日本語版電子書籍の取扱い、販売を開始いたします。第1弾はアレハンドロ・ホドロフスキー作、ホセ・ラドロン & メビウス画『ファイナル・アンカル』、アレハンドロ・ホドロフスキー作、ゾラン・ジャンエトフ画『テクノプリースト』、ピエール・ワゼム作、フレデリック・ペーターズ画『KOMA—魂睡』ほか12タイトルを予定しています。さらに、発売当日にはバンド・デシネの魅力をもっと日本のマンガファンに広く伝えるため、渋谷のマンガサロン「トリガー」にて、トークイベント「ユマノイドとバンド・デシネの夜」を開催いたします。

トークイベントでは、海外マンガフェスタの代表を務め、現在ユマノイド・ジャパン代表であるフレデリック・トゥルモンド氏、『雷火』『ドラゴンクエスト列伝 ロトの紋章』などの著作を持ち、メビウスやバンド・デシネに深い造詣を持つ漫画家の藤原カムイ先生を招き、バンド・デシネの奥深い世界の魅力と、電子書籍化によるバンド・デシネの未来と可能性を語り尽くしていただきます。

【本件についてのお問い合わせ先】 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 広報担当：木元TEL：03-3518-9544 FAX：03-3518-9131 MAIL：pr@ebookjapan.co.jp

また、当日のイベントの様子はニコニコ生放送でもライブ上映いたします。

◆トークイベント「ユマノイドとバンド・デシネの夜」概要

主 催：株式会社イーブックイニシアティブジャパン

日 時：2015年9月4日（金）19:30～21:30（開場 19:00）

会 場：マンガサロン「トリガー」

参加費：3,000円（1ドリンク・eBook図書券（540円）含む）

チケット：ご購入はこちら（<http://peatix.com/event/108712>）にてお求めください

◆マンガサロン「トリガー」とは

「良作マンガと読者がリアルに出会える、マンガコンシェルジュ常駐カフェ」をコンセプトに堀江貴文が代表、佐渡島庸平が編集長を務めるマンガ HONZ がプロデュースしたマンガサロンです。

所在地：東京都渋谷区渋谷 3-15-2 コンパルビル 4F

公式HP：<http://mangasalon.com/>

eBookJapan は、今後も世界の多様な漫画文化の発展のため、海外コミックの電子書籍化に積極的に取り組んでまいります。

■eBookJapan の主な特長

- ・世界最大級のマンガ作品数をはじめ、38万冊を超える“充実のラインナップ”
 - ・購入した作品は複数端末（*）で楽しみ、背表紙表示も可能な“トランクルーム本棚”
 - ・手軽なブラウザでも、ダウンロード後はオフラインでも楽しめる“高画質リーダー”
- * WindowsPC、Mac、iPad/iPhone/iPod touch、Android に対応。

■株式会社イーブックイニシアティブジャパンについて

2000年に「SAVE TREES！」を合い言葉に創業した電子書籍業界の老舗です。2011年に東京証券取引所マザーズ市場に上場、2013年に東証一部へ市場変更。（コード：3658 “365日ハッピー”）

コーポレートサイト：<http://corp.ebookjapan.jp/>

電子書籍販売サイト：eBookJapan (<http://www.ebookjapan.jp/ebj/>)

※1 有料電子コミック利用者の「電子コミックの購入先」（複数回答）において最も利用者の多い電子書店となりました。

出典：インプレス R&D インターネットメディア総合研究所「電子コミックビジネス調査報告書 2012」3.5.2 電子コミックの購入先 (P.76)